

地域の力でHOP! STEP! JUMP!

福井市足羽第一中学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	29回

(2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	50人
校内外での授業や活動ボランティア	85人
登下校支援ボランティア	1,120人

(3) 特色ある活動

テーマ「心の教育の充実」

地域や同窓会、校区の小学校と連携した行事を通して、郷土愛を育むとともに生き方について学ぶ取組

『校下一周母校訪問駅伝大会および小中交流会』(10月25日)

46回目の今年も、地区の警察、防犯隊、交通安全協会、公民館、自治会、同窓会、PTA、学校代表の約40名で実行委員会を組織し、中学校と地域や保護者、校区の小学校との密接な連携のもとに行われた。駅伝コースの沿道には多くの保護者や地域の方々が応援に駆けつけ、声援を送ってくれる。また、中継地点の各小学校では、小学校の企画で走り終えた中学生と児童との交流会も行われている。

『避難訓練事前学習会』(6月18日)

6月の避難訓練の前に実施している同窓会と連携した行事である。今年度は東日本大震災の被災地へボランティア活動に参加した一乗地区在住の山崎猪七雄さんをお迎えし、被災地の現状や私たちができることについての話を伺った。また、福井豪雨で被災した体験をもとに、被災のようす、災害時の行動や日頃から心がけておかなければならないことなどについて学んだ。また、生徒は防災意識を高め、学習したことを次週の地震と火災を想定した避難訓練に役立てた。

『こんにちは先輩』(12月18日)

社会の多方面で御活躍の卒業生を招き、職業観や生き方などを学ぶ「こんにちは先輩」を実施した。講師には、朝倉氏遺跡の保存と観光PRに尽力されている岸田清さんをお迎えし、中学生時代の自分や朝倉氏遺跡のすばらしさについて話を伺った。生徒は、校区にあるすばらしい歴史を知ることにより、郷土愛を育むきっかけになった。



小学生や地域の方々の声援の中、
襷をつなぐ中学生



こんにちは先輩(左)
避難訓練事前学習会(右)

3 成果のまとめと課題

(1) 成果について

- ・学校便りや学年便り、校区の全小中学校で作成した一中校区「子育てかわら版」を発行し、中学校だけでなく校区の小学校の教育活動を保護者・地域に広報することで、保護者の意見や要望を教育活動の中に反映させることができた。
- ・卒業生や地域の方々を講師として招いたり、地域での職業体験や地域探究活動を行うことで、地域の方々の中学生に対する声かけが増えるなど、地域全体で子どもたちを育てるという環境づくりの土台ができてきた。

(2) 課題及び次年度に向けて

- ・授業時数増に伴い、行事の精選と行事のねらいを意識した計画実践を行うことが必要である。
- ・地域の方々を学校に招いての行事については、地域や同窓会との連携強化を図るとともに、突発的でなく継続的に教育活動に参加するシステムの構築をめざしたい。